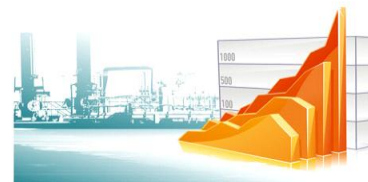


ぎふ経済レポート



平成27年7月分
岐阜県商工労働部

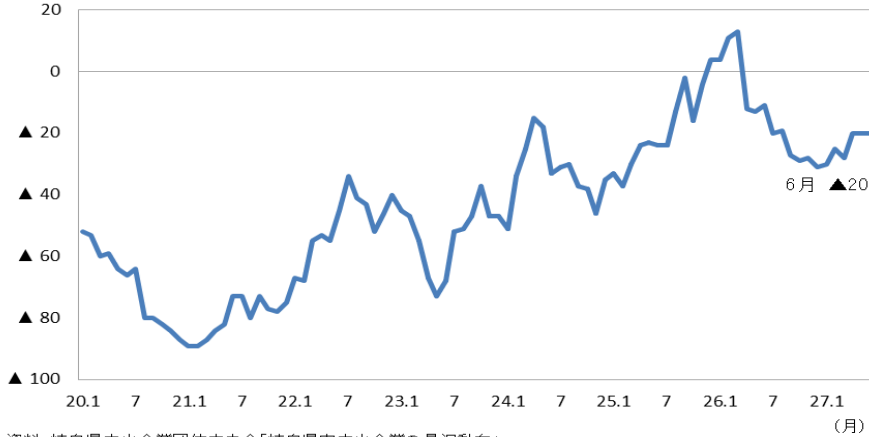
※企業等へのヒアリングは7月29日～30日を中心に実施し、8月10日に作成。

景気動向

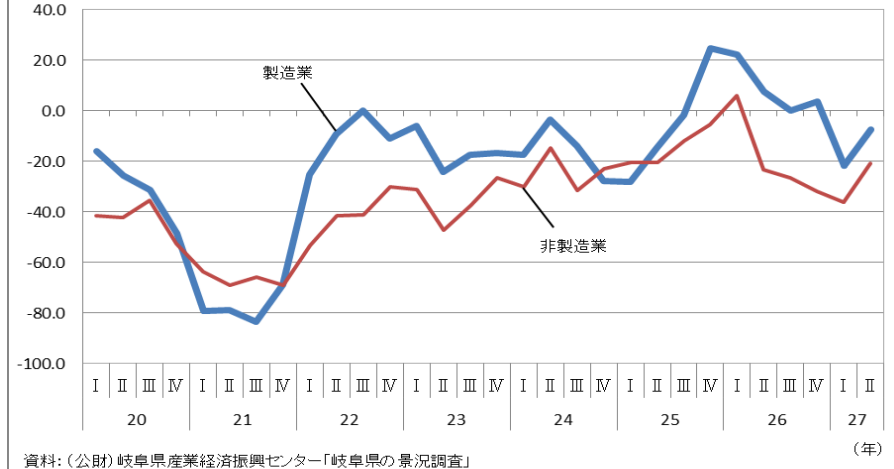
- 6月の県内中小企業の景況感は、マイナス20と前月と同水準で推移した。
- 4月の景気動向指数(一致指数)は、115.9と前月より4.6ポイント上昇した。

- 平成27年4-6月期の売上高は、製造業・非製造業ともに2期ぶりに増加した。
- また、利益についても、製造業・非製造業ともに2期ぶりに増加した。

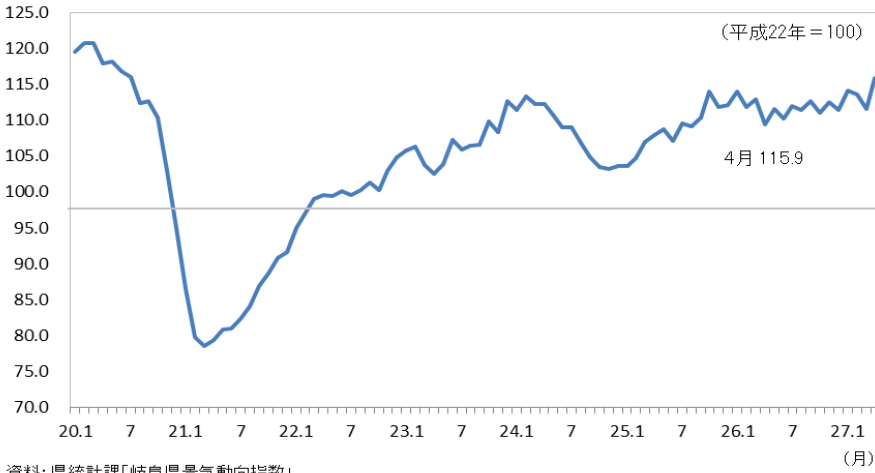
県内中小企業の前年同月比景況感DI (好転-悪化) の推移



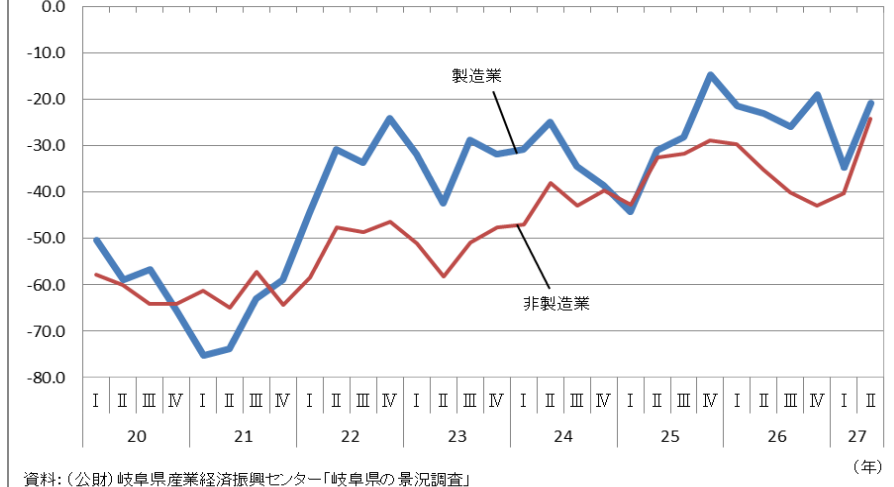
県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



岐阜県景気動向指数(CI)の推移



県内企業の採算DI(増加-減少)の推移

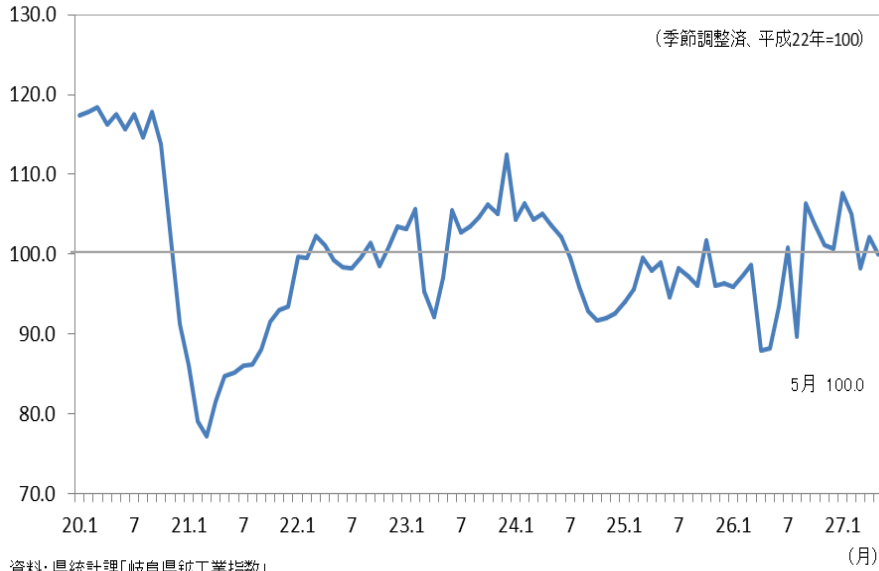


製造業

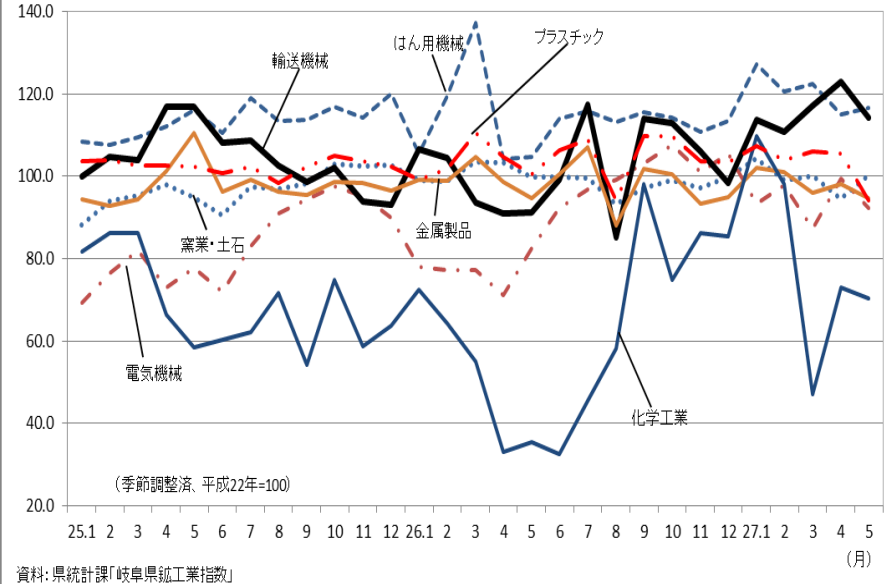
○5月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、100.0と前月比マイナス2.1%となり、2ヶ月ぶりに下降した。

○5月の主な産業の鉱工業生産指数(季節調整済)は、はん用機械、窯業・土石を除く産業で前月より下降した。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数

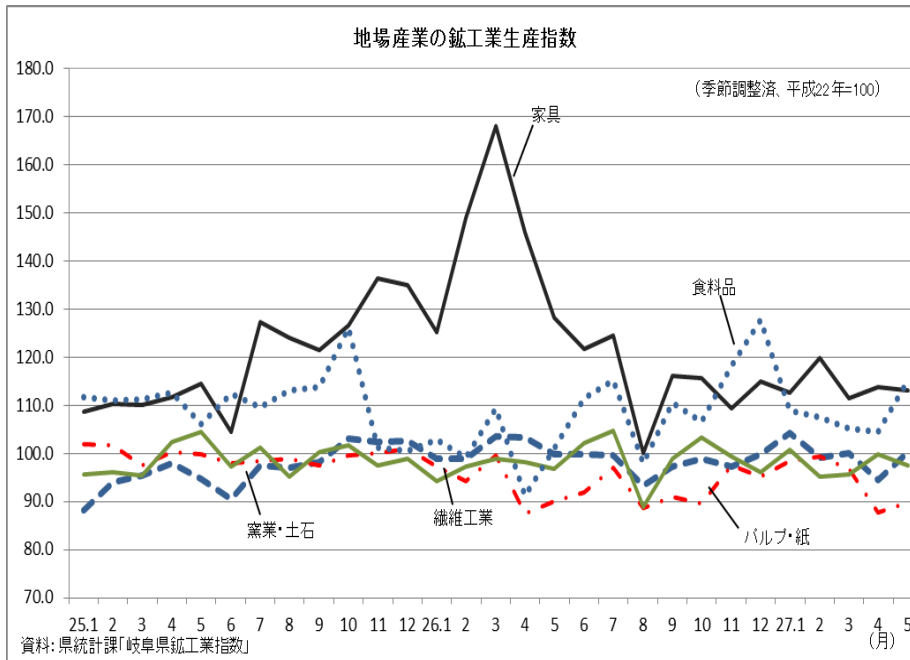


現場の動き

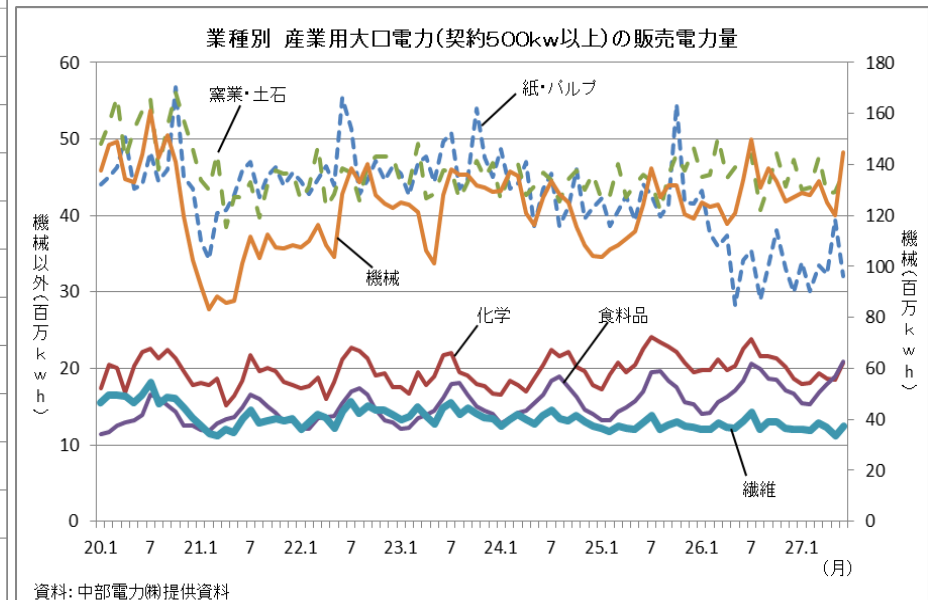
- ◆受注量、売上額とも対前年同月比で増加。特に、MRJ関係の受注は好調である。(輸送用機械)
- ◆サプリメントは、大型商材が概ね好調。夏季休暇に向け繁忙を極めている。(食料品)
- ◆受注量、売上額とも今後2、3ヶ月は1割程度増加する見通し。(非鉄金属)
- ◆ほぼフル生産体制を継続しており、受注は堅調に推移。年内は好調に進むものとみている。(生産用機械)
- ◆受注量、売上額は、対前年比横ばいであるが、自動車関連の受注は増加している。(電気機械)
- ◆受注量、売上額は、対前年比15%程度伸びたが、中国経済減速の影響により陰りが見えてきた。(金属製品)
- ◆取引先の大手建機メーカーが中国での受注を減らしており、生産量が対前年比10%減少。(はん用機械)

製造業-2

○5月の地場産業(刃物を除く)の生産指数は、窯業・土石、パルプ・紙、食料品が前月より上昇したものの、繊維工業、家具は低下した。



○6月の工場向け電力販売量は、機械が2ヶ月ぶりに前年を上回った。
また、化学が12ヶ月連続で、窯業・土石が8ヶ月連続で前年を下回った。

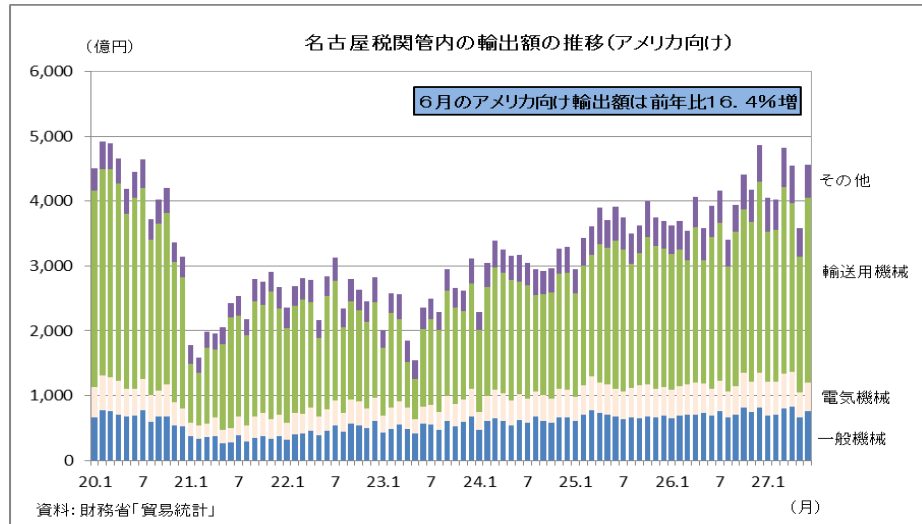
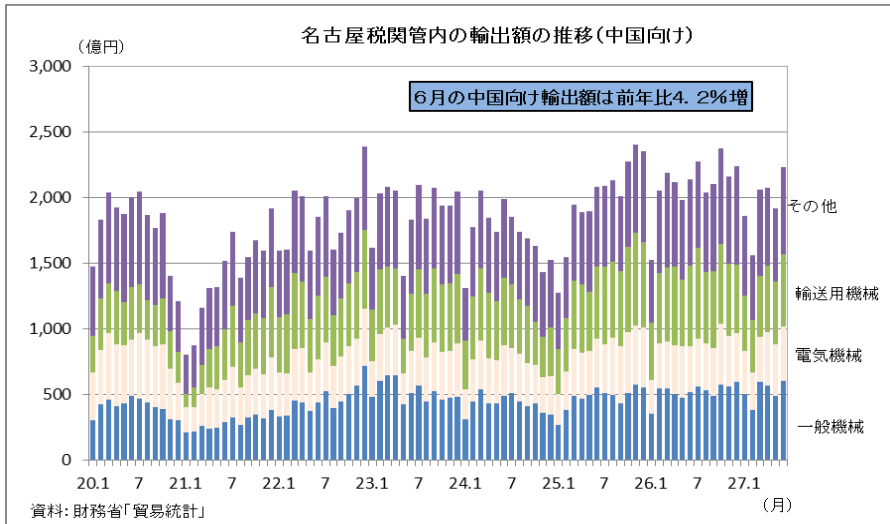
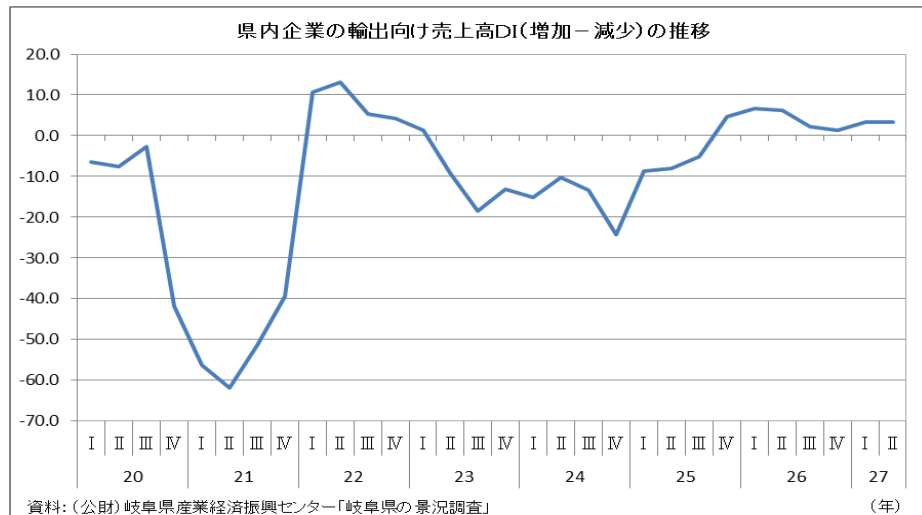
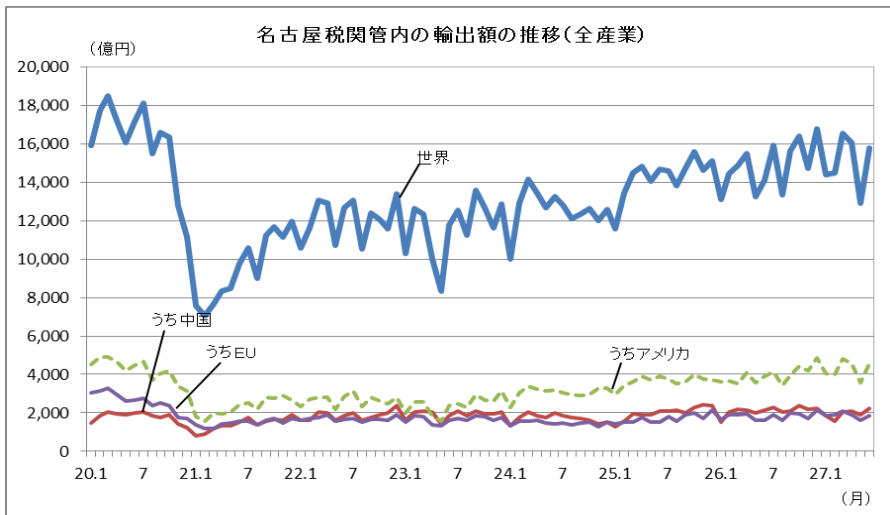


現場の動き

- ◆ 為替の影響で仕入額の上昇分を価格転嫁できず、厳しい状況は変わっていない。(アパレル)
- ◆ 消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動減から回復しきっていない。(紙)
- ◆ 国内需要が伸びており、売上高は前年同月比約30%増加した。
- ◆ 売上は対前年比で2割増加。受注に生産が追い付いておらず、1年待ちのものもある。(以上、刃物)
- ◆ 売上は対前年同月比で増加しており、回復傾向にある。(木工)
- ◆ 国際貨物輸送の取扱額が増加しており、海外向けは好調。(陶磁器)

輸 出(名古屋税関管内)

- 6月の輸出額は1兆5,775億円で、前年同月比11.9%増と2ヶ月ぶりに前年を上回った。
- うち中国向けは、一般機械が増加し、同4.2%増と5ヶ月ぶりに前年を上回った。
- うちアメリカ向けは、すべての産業で増加し、同16.4%増と10ヶ月連続で前年を上回った。
- 県内企業の輸出向け売上高DIは2期連続で増加しており、引き続き好調を維持している。



為替・原油価格の動向による影響について

- ◆円安で安定していることから、差益、差損のどちらもほとんど発生していない状況。(輸送用機械)
- ◆円安傾向が続くことでアルミ等の原材料費が高騰する可能性があり、為替動向を注視している。(非鉄金属)
- ◆海外との契約が纏まれば、為替なども注視していく必要がある。(金属製品)
- ◆円安や原油安の影響は感じられない。(はん用機械)
- ◆原油価格が短期間に上下しており、販売価格に大きな影響を与えている。(プラスチック)
- ◆原材料の高騰により仕入額は上がっているが、十分な価格転嫁が出来ていない。(紙)
- ◆為替は、企業側は120円～125円/ドルで計画を立てているため、今のところ大きな影響はない。(金融)

アベノミクスの効果・影響について

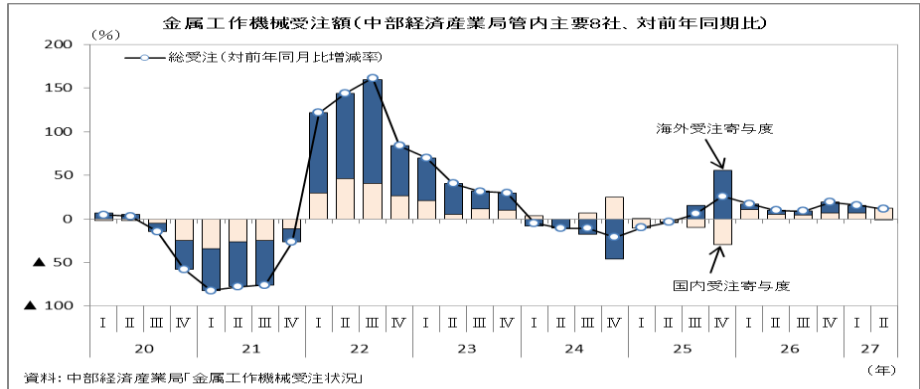
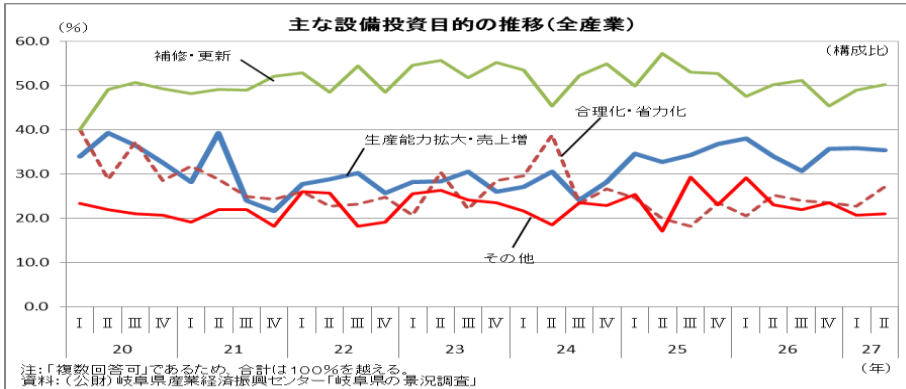
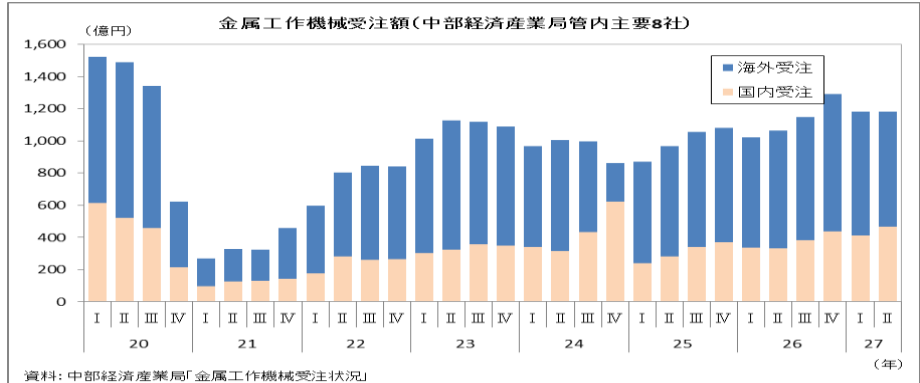
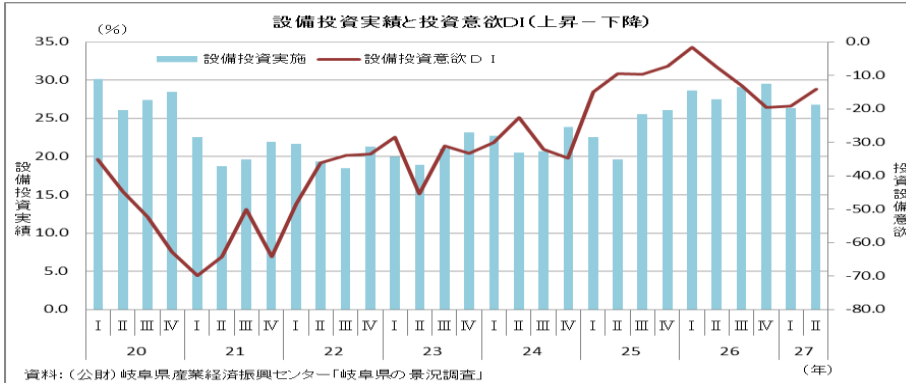
- ◆レクサス等の高級車が好調であるので、影響は感じられる。(輸送用機械)
- ◆新規事業・新製品などの研究開発助成金などを有効に活用している。(生産用機械)
- ◆法人税引き下げの効果が決算時に出てくる。(プラスチック)
- ◆円安や原油高により収益が圧迫されてるなどマイナスの影響の方が大きい。(紙)
- ◆「ふるさと納税」により、わずかながら商品の知名度が上がっている感触がある。(食品)
- ◆商店街とコラボした抽選会により、プレミアム商品券が多く利用されている。(大型商業施設)
- ◆外国人観光客は多く、アベノミクス効果(円安等)があると思われる。(高山商店街)
- ◆建設業は2020年のオリンピックまでは安定した受注が見込められると思われる。(金融)
- ◆アベノミクス効果は感じられない。(アクティブG、家電、商店街、住宅関連)

消費税率が10%に引き上げられた場合の影響について

- ◆8%への引き上げの際予想したほど影響はなかった。次回の増税時も影響は少ないのではないかと。(輸送用機械)
- ◆本来であれば売上が3%伸びなければいけないところ、3%に届いていないため影響は残っている。(大型小売店)
- ◆消費税率引き上げによる駆け込み消費の反動減によるマイナスは一巡。(商店街、コンビニ)
- ◆次回の増税時に、再び消費の落ち込みが懸念される。(金融)

設備投資

- 平成27年4－6月期の設備投資実績は2期ぶりに増加した。目的別では、「生産能力拡大・売上増」は前月と同水準で推移し、「合理化・省力化」、「補修・更新」が増加した。
- 設備投資意欲は2期連続で増加した。



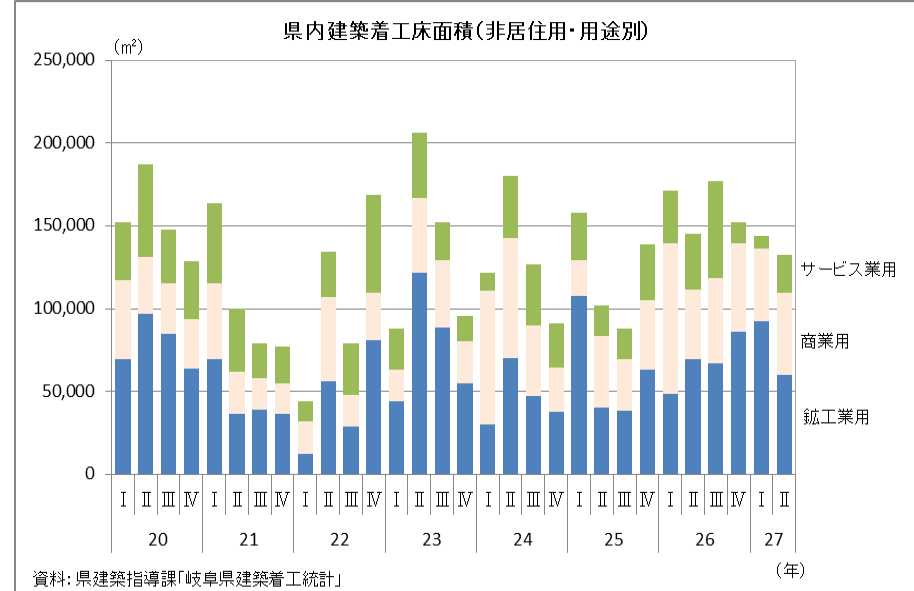
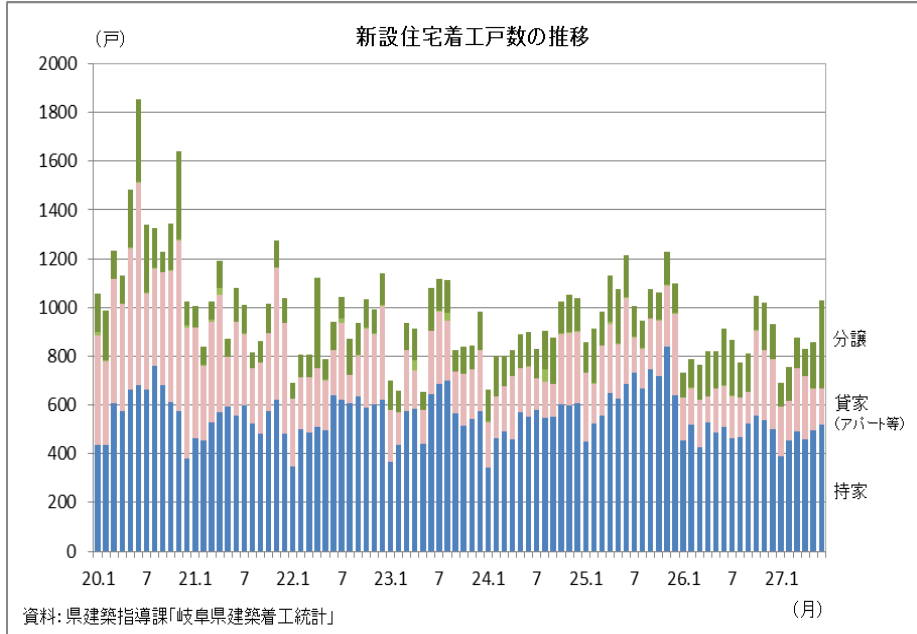
現場の動き

- ◆航空機関連部品製造工場の増設工事を8月に予定。
- ◆来年の9月に新工場の建設を計画しており、工場用地の情報を収集している。(以上、輸送用機械)
- ◆大型の設備投資を今期中に実施予定。(生産用機械)
- ◆9月に増産・合理化のため1億2千万円程度の設備投資を計画。(金属製品)
- ◆老朽化に伴う設備投資を予定。(食品)
- ◆自動車関連産業やアパート建設に係る設備投資が伸びている。(金融)

住宅・建築投資

○6月の住宅着工戸数は、貸家が減少したものの、持家、分譲が増加したことにより、全体で前年同月比12.7%増と4ヶ月連続で前年を上回った。

○平成27年4-6月期の建築着工床面積は、商業用が増加したものの、鉱工業、サービス業用が減少し、全体では前年同期比8.8%減と2期連続で前年を下回った。



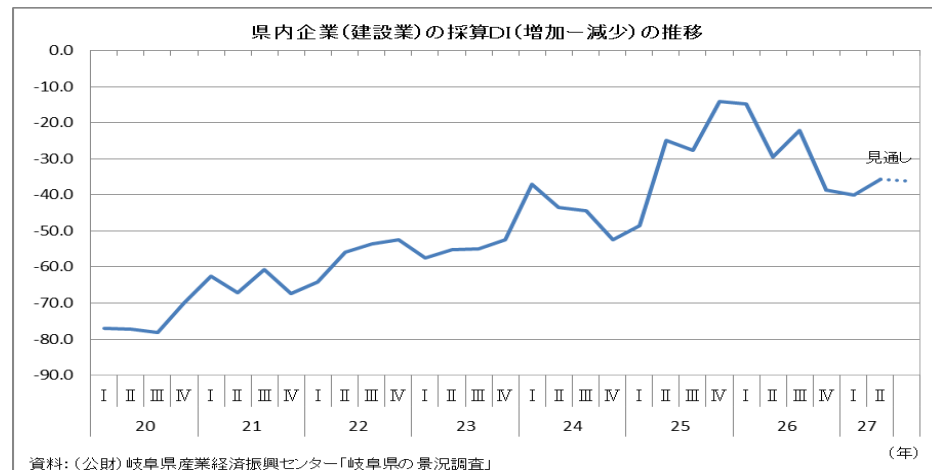
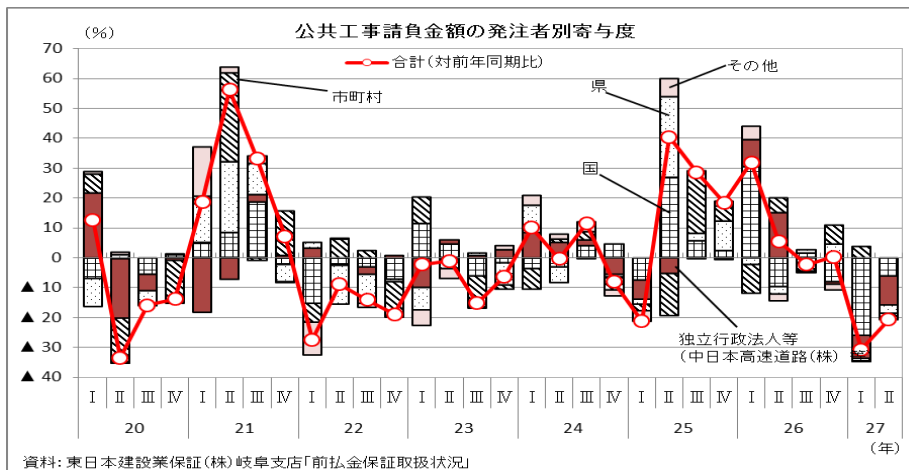
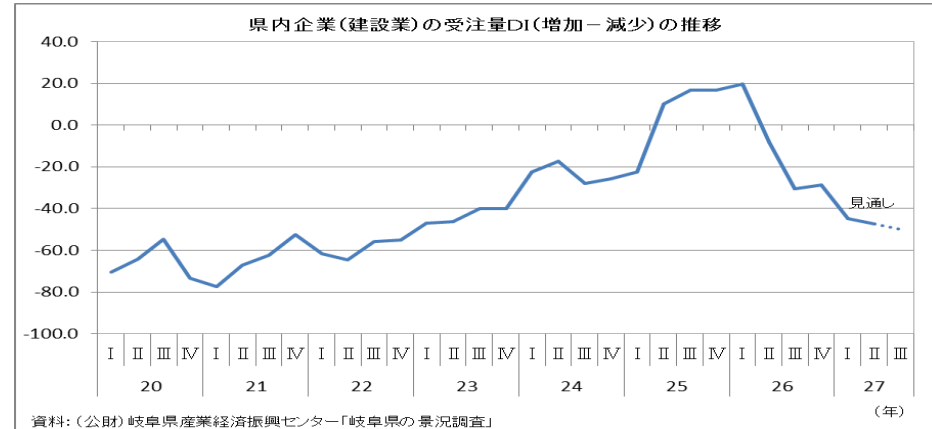
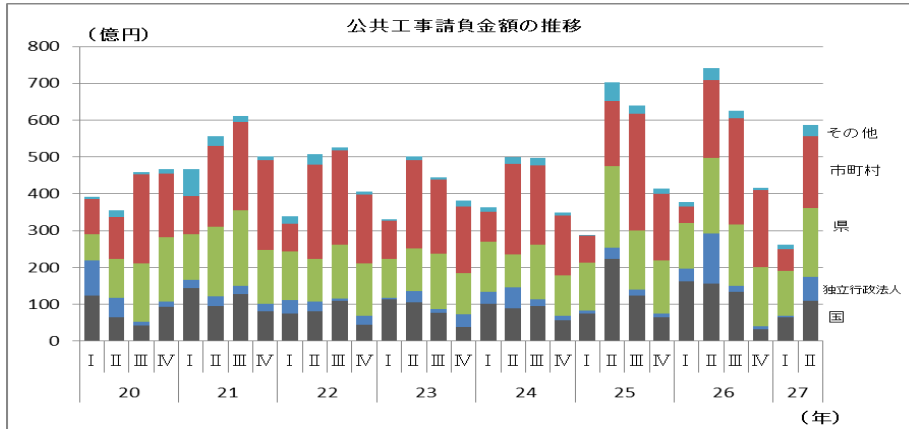
現場の動き

- ◆受注件数は前月に引き続き回復傾向にあり、特にリフォーム顧客は増加している。(住宅関連)
- ◆山からの出材量が、天候不順の影響で大幅に減少したものの8月には回復を見込む。
- ◆A材(製材用材)は、スギの引き合いが強くなり、今後も徐々に増える傾向にある。
- ◆B材(集成材)は、合板工場の生産調整の影響もあるが、フロア用の需要が増加しており、供給は順調。
- ◆C・D材(チップ・燃料用材)については、バイオマス発電施設稼働に伴う原木需要増の影響等から需要が非常に旺盛な状況が続いているが、価格は横ばいである。(以上、森林組合連合会)

公共工事

○平成27年4-6月期の公共工事請負金額は、前年同期比20.7%減と2期連続で減少し、全ての発注者において前年同期比で減少した。

○平成27年4-6月期の採算DIは、前期に比べ改善したものの、翌期は悪化の見通し。

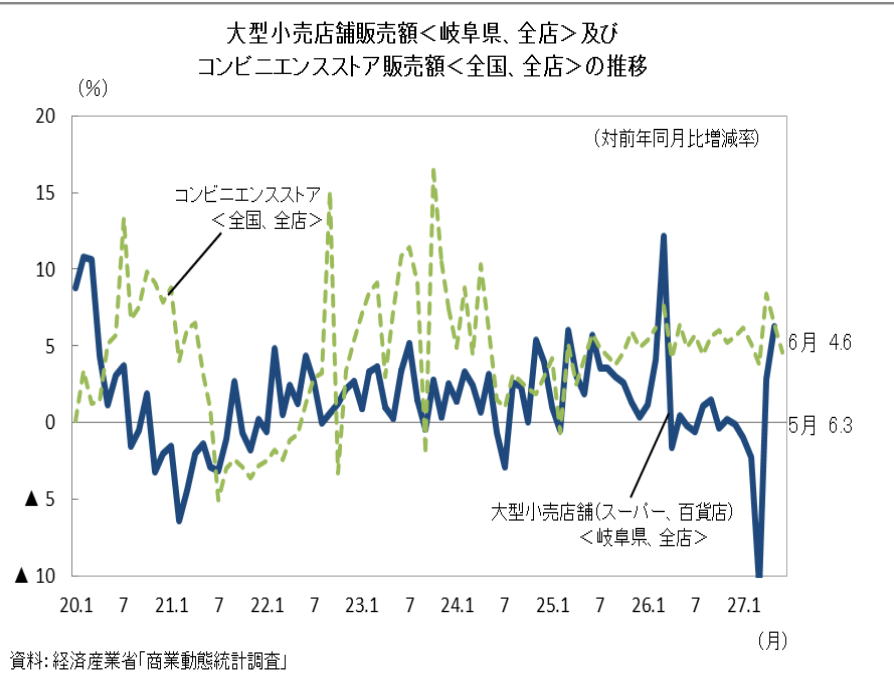


現場の動き

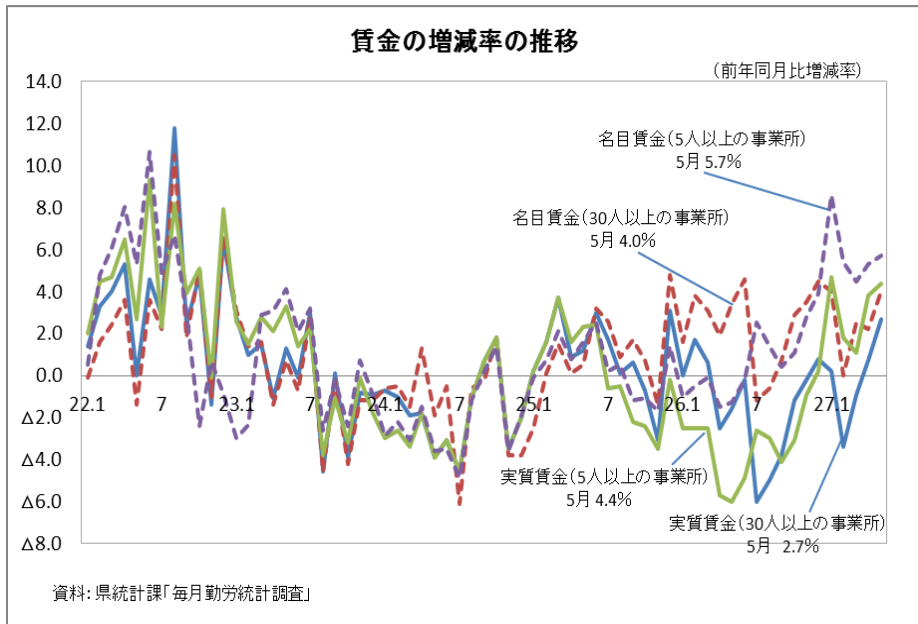
◆公共工事の発注が少なく、技術者についても余剰感がある。また、民間工事においても、工事規模の大小を問わず、手持ち工事量は少ないと感じている。(業界団体)

個人消費(流通・小売)

○5月の大型小売店販売額は、前年同月比6.3%増と2ヶ月連続で前年を上回った。



○5月の実質賃金は、従業員5人以上の事業所は前年同月比4.4%増、従業員30人以上の事業所は、同比2.7%増となった。



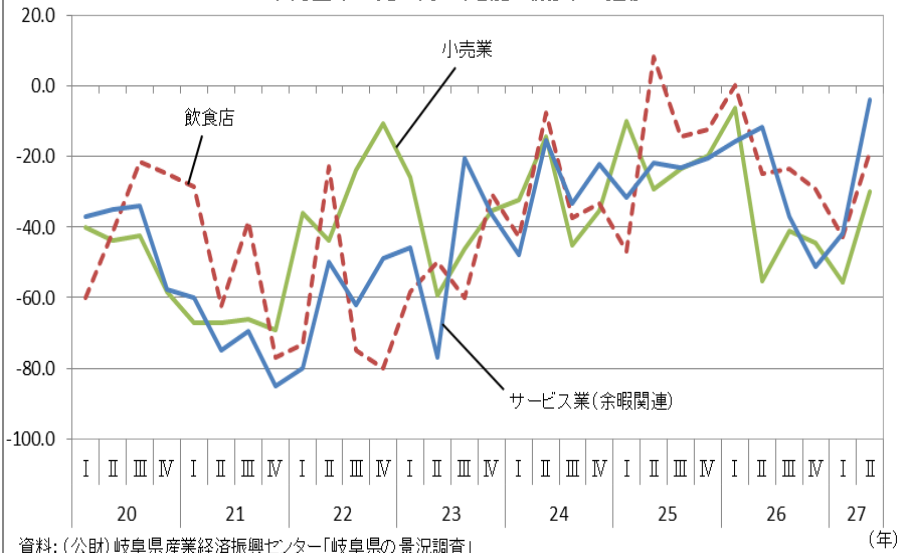
現場の動き

- ◆ 来客数、売上ともに前年同月比で100%を若干上回っており、飲食、物販を中心に好調に推移。
- ◆ 梅雨明けし、気温が高くなったことにより、衣料が前年同月比売上105%と好調。
- ◆ 涼味系の食品部門が安定して好調。(以上、大型小売店)
- ◆ レジャー用品、UVカット商品、熱中症予防対策商品が売れている。
- ◆ 安いだけのものは売れず、付加価値のある商品が高くても売れている。(以上、スポーツ用品)
- ◆ 新仕器の導入に伴い、品揃えを拡大しているアイスクリーム、冷凍食品も売上を大幅に伸ばし、既存店の前年実績を上回った。(コンビニ)

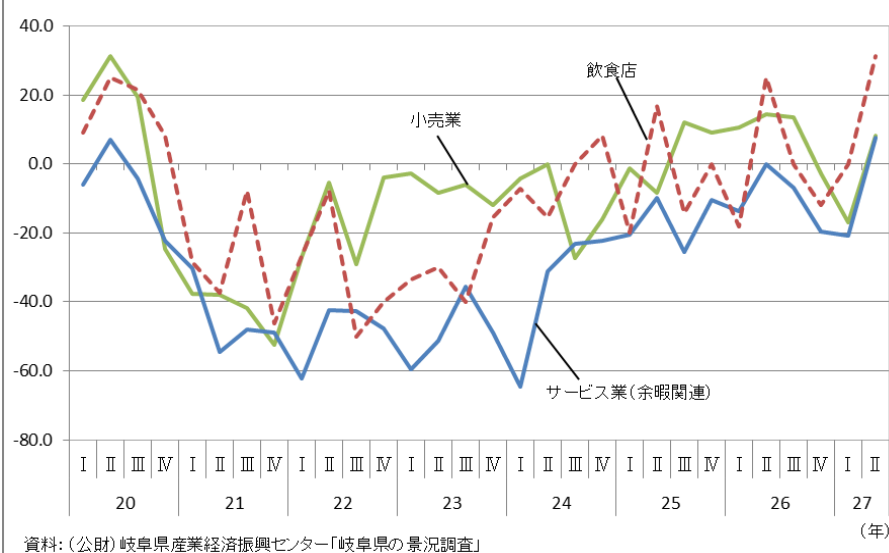
個人消費(流通・小売)－2

○平成27年4－6月期の小売業、飲食業、サービス業(余暇関連)について、売上高、製品販売価格ともに大幅に増加した。

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



県内企業の製品販売価格DI(上昇-下降)の推移



現場の動き

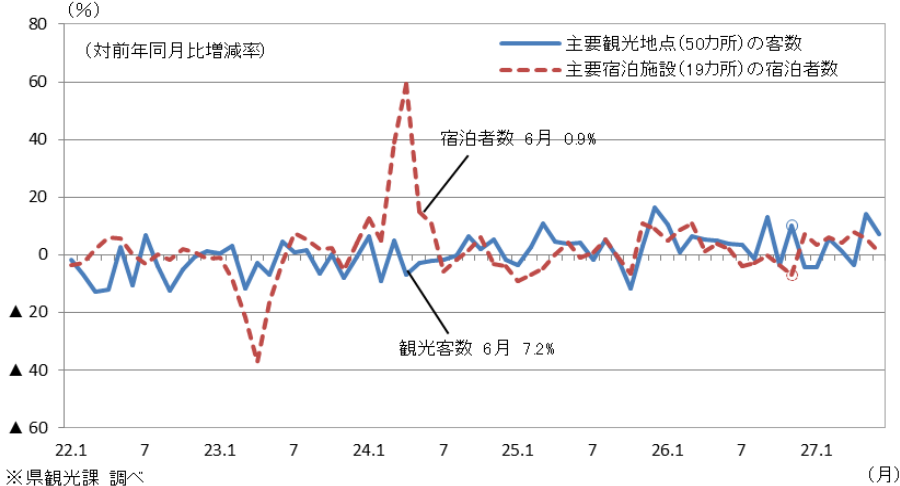
- ◆館全体売上としては前年同月比100%を上回った。
- ◆生鮮食料品スーパーは前年同月と同水準で推移。(以上、アクティブG)
- ◆7月は、猛暑日が多く人通りが少なかった。
- ◆売上は、飲食店が同100%、メガネ店が同100%。(以上、柳ヶ瀬商店街)
- ◆時計宝石店等比較的高額品を取り扱っている店舗で、プレミアム付き商品券の利用があった。
- ◆売上は、婦人服店が前年同月比93%、和菓子店が同103%。(以上、大垣市商店街)
- ◆外国人観光客が引き続き多く、また、夏休みに入り、日本人の家族連れや学生も多く、売上は好調。
- ◆売上は、土産・雑貨店が前年同月比100%、衣料品店が同118%。(以上、高山市商店街)
- ◆売上は、酒類販売が前年同月比100%、子ども服が同95%。(多治見市商店街)

観光

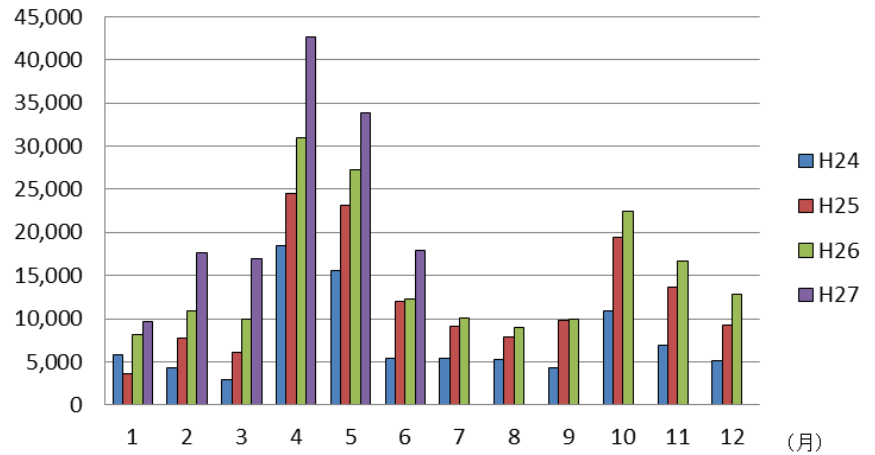
○主要観光地における6月の観光客数は、前年同月比7.2%増と2ヶ月連続で前年を上回った。主要宿泊施設における宿泊者数は同0.9%増と7ヶ月連続で前年を上回った。

○主要宿泊施設における6月の外国人宿泊客数は、前年同月比44.9%増と29ヶ月連続で前年を上回った。

主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移



主要宿泊施設 外国人宿泊客数(対前年比推移)

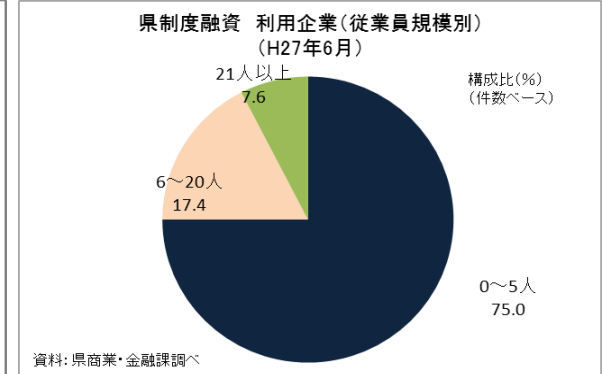
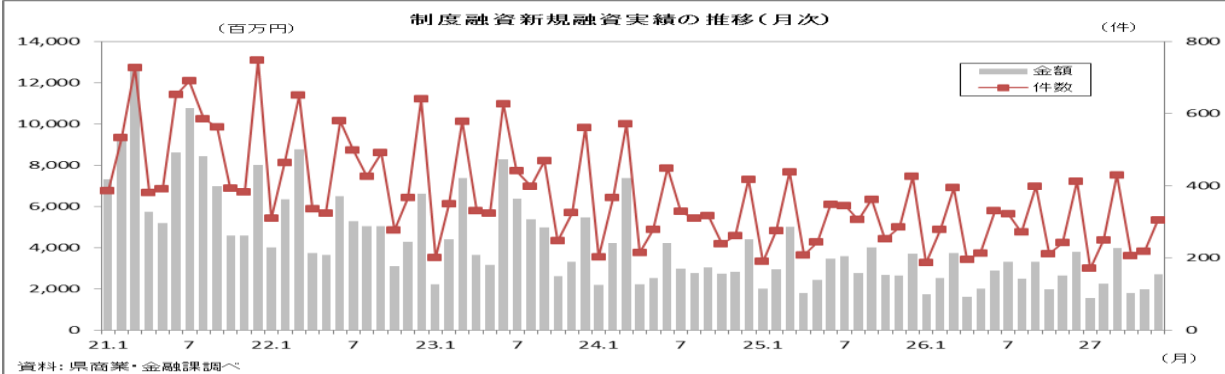
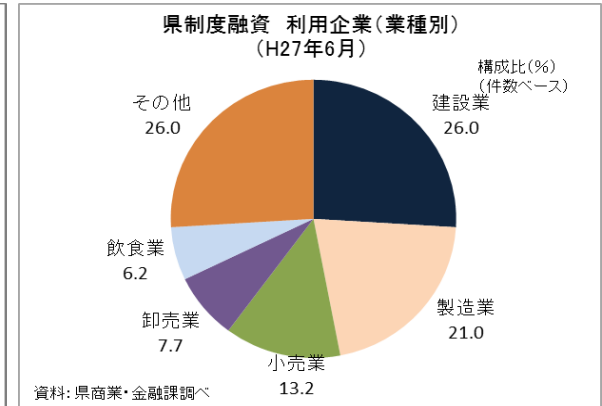
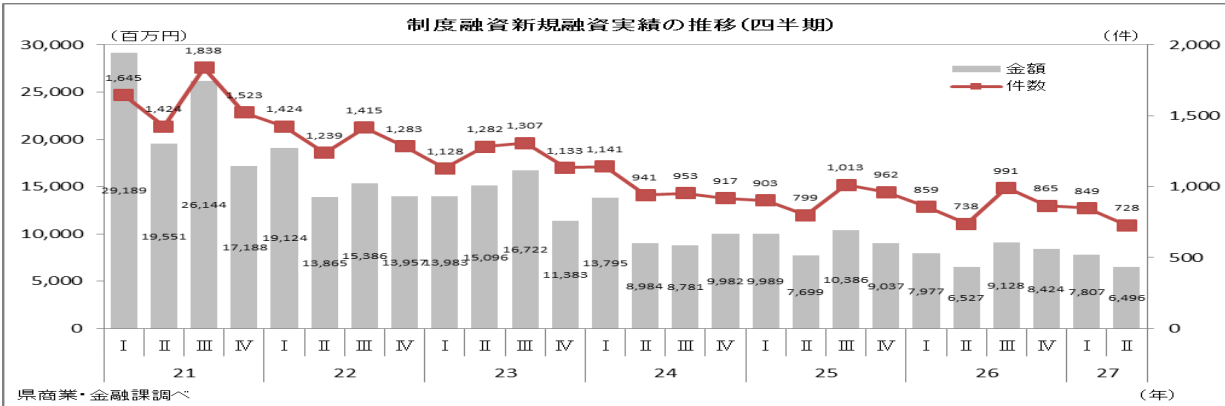


現場の動き

- ◆ 宿泊施設については、インバウンドの増加もあり、前年比で好調を維持している。(宿泊施設の総括)
- ◆ 「花フェスタ2015ぎふ」の成功も寄与し、トータルで見た観光入込客は前年比で増加傾向にある。(観光地の総括)
- ◆ 「ふるさと旅行券」の発行も影響し、高単価プランに流れる傾向がある。(岐阜市内の宿泊施設)
- ◆ 相変わらずインバウンドが好調であり、特に中国が増加。(大垣市内の宿泊施設)
- ◆ 宿泊客数については対前年50%増となり、好調。インバウンドは対前年比で5ヶ月連続増加。(恵那市内の宿泊施設)
- ◆ 奥飛騨温泉郷の平湯から上高地に向かい、飛騨山脈北アルプスへ入山する登山者が増加している。
- ◆ 海外の宿泊予約サイトによる予約が伸びてきている。館内にWi-Fiフリーを設置したことで、日本人、外国人いずれのお客様にも良く作用している。(以上、高山市内の宿泊施設)
- ◆ 円安により、インバウンドは好調。(下呂市内の宿泊施設)

資金繰り

- 新規融資実績は、平成21年秋口から沈静化が続いていたが、下げ止まりの兆しがみられる。
- 6月の実績は金額が前年同月比6.6%減と2ヶ月連続で減少し、件数は同7.6%減と4ヶ月ぶりに減少した。
- 建設業・製造業の利用が多く、従業員5名以下の零細企業が約8割を占める。

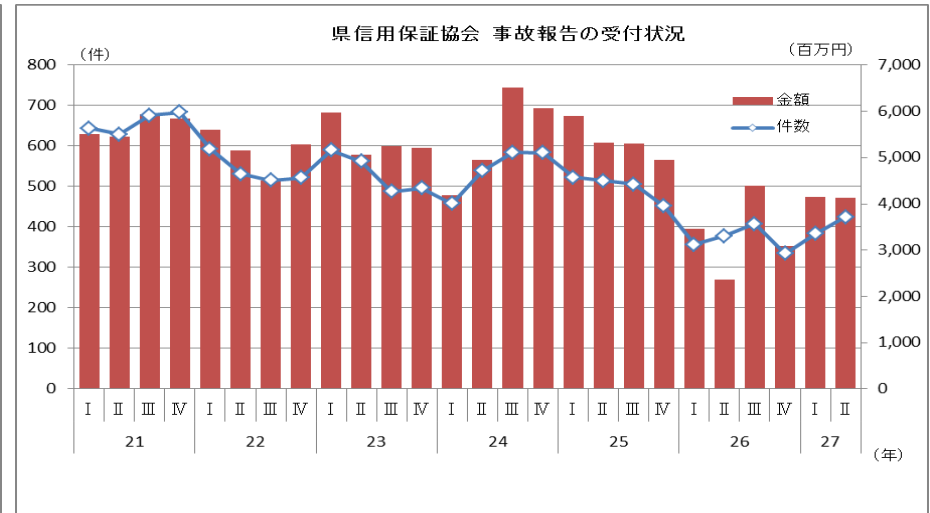
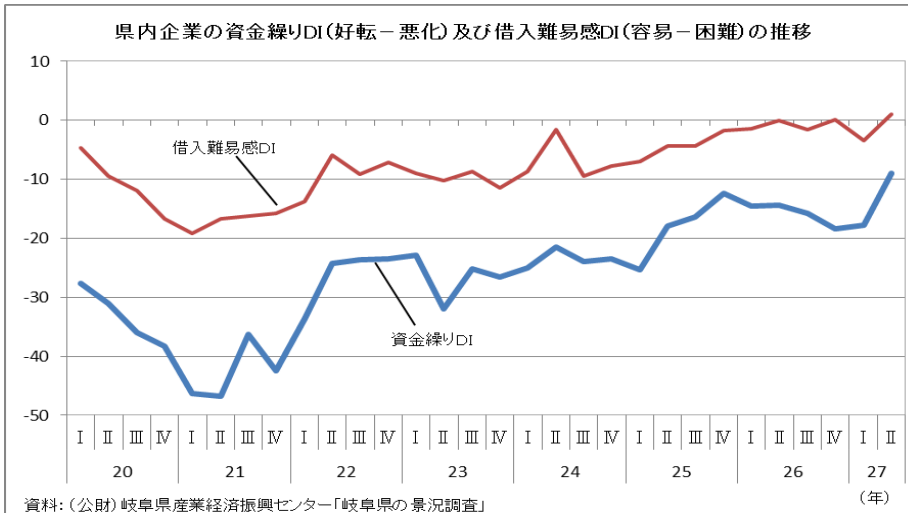
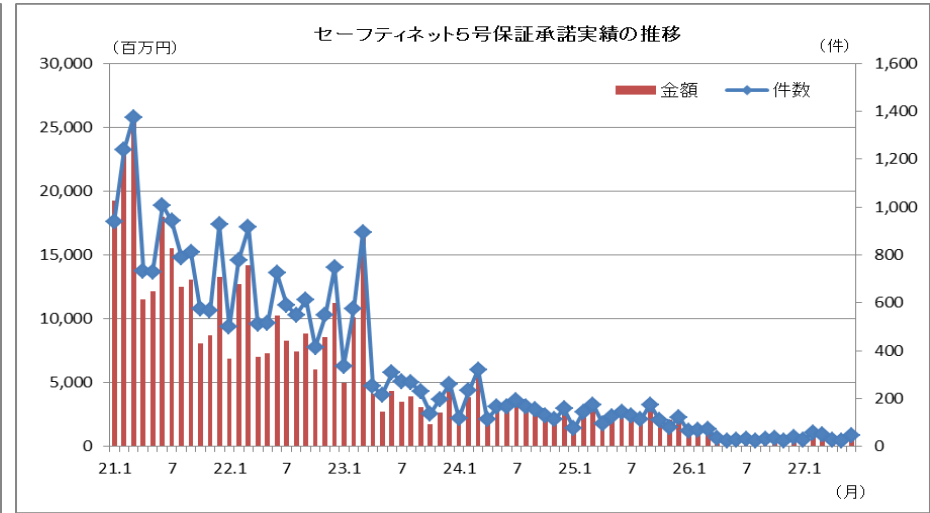
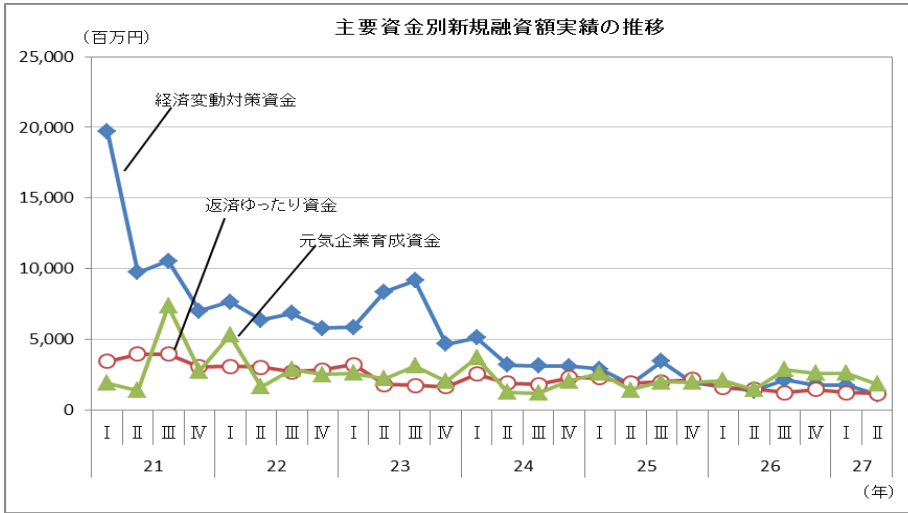


現場の動き

- ◆受注や消費マインドが上向き、資金需要の回復が見られる。
- ◆融資額は全体として横ばいであるが、製造業等融資額が増加している業界も見られる。
- ◆設備投資目的の融資は伸びている。(以上、金融)

資金繰りー2

- 資金繰りを改善するための運転資金である「経済変動対策資金」の融資額実績、業況の悪化している業種に属する中小企業者を支援するための措置である「セーフティネット保証5号」の承諾実績は、平成21年秋口から沈静化が続いていたが、下げ止まりの兆しがみられる。
- 資金繰りについては、資金繰りDIが2期連続で増加し、借入難易感DIが2期ぶりに増加した。

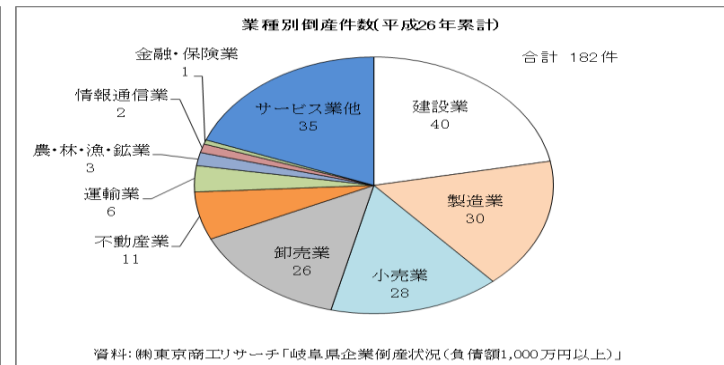
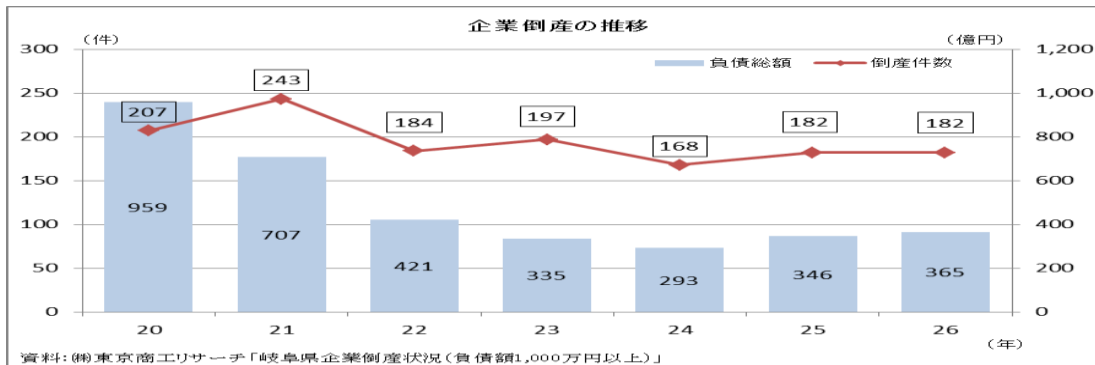
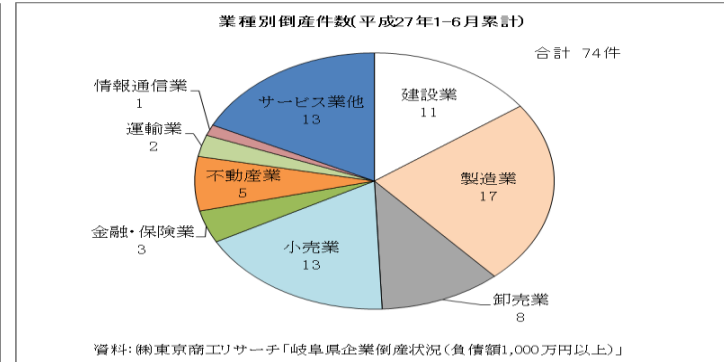
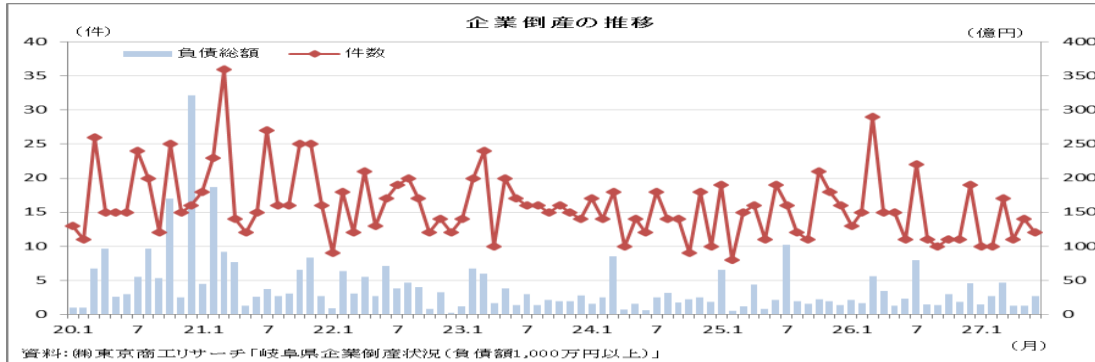


資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

倒産

○6月の倒産件数は前年同月比9.1%増の12件、
負債総額は同16.2%増の22億8,900万円となった。

○業種別では、建設業と製造業で
倒産件数の4割を占めている。



専門機関の分析(東京商工リサーチ)

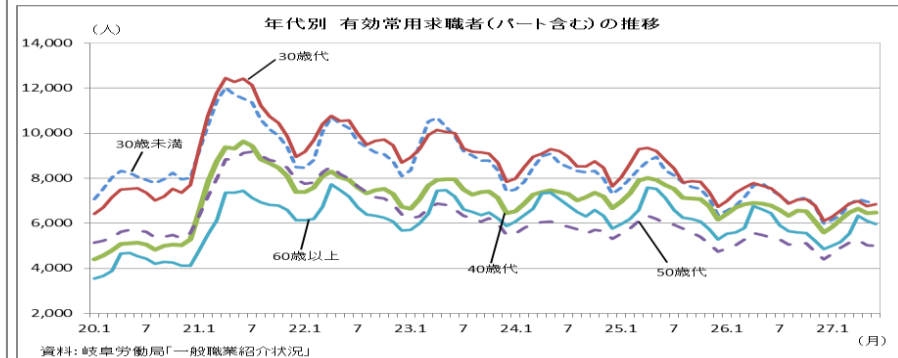
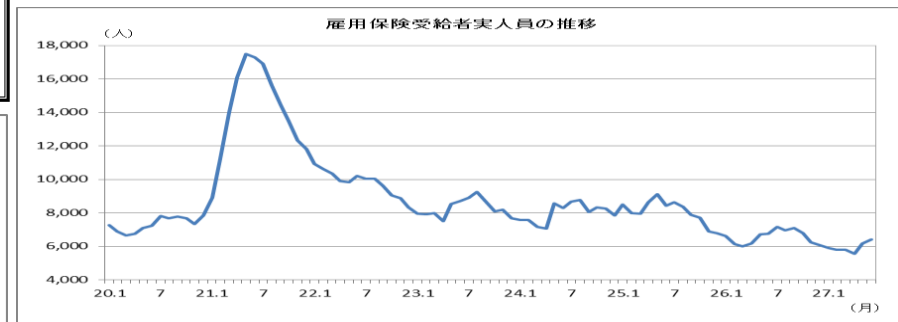
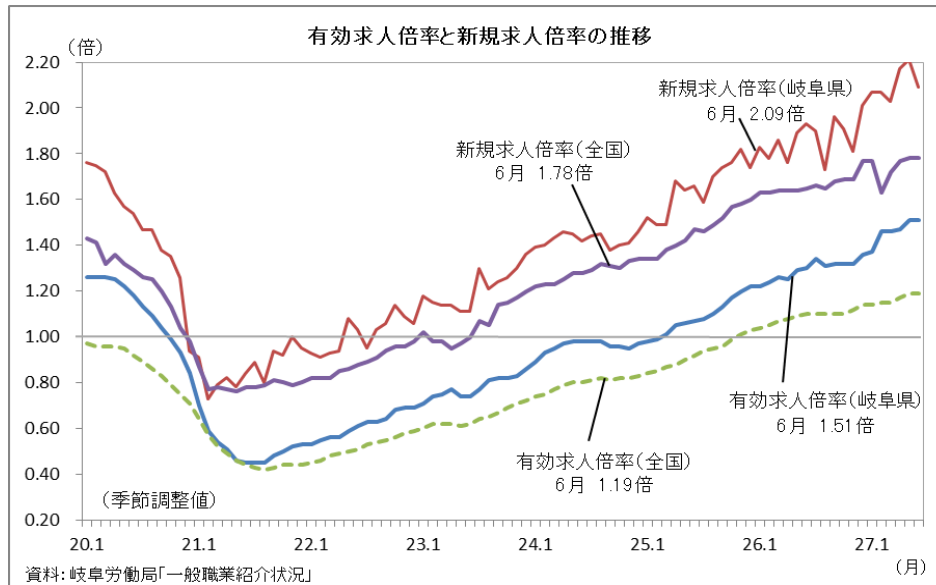
- ◆負債総額10億円を超える倒産が1件、1億円以上は3件であり全体の25.0%を占めているが、1億円以上の小口先が75.0%と半数以上を占めており、負債総額を抑制する要因となった。
- ◆業歴30年以上の老舗企業3件、10年以上で8件と全倒産件数の66.7%を占めた。
- ◆10人未満の企業が10件と全倒産件数の83.3%を占めた。
- ◆円安基調に伴う原材料高が食料品などにも波及するなど消費マインドを冷やしかねない。また、住宅市場の回復の遅れも鮮明となっており、住宅業界や個人消費低迷の影響を受ける小売業・サービス業などを中心に厳しい事業環境が当面続くものと見られる。

雇用

○6月の有効求人倍率(季節調整値)は1.51倍と前月と同水準となった。

○6月の新規求人倍率(季節調整値)は2.09倍と前月より0.12ポイント低下した。

○6月の雇用保険受給者人員は前年同月比5.2%減と24ヶ月連続で前年を下回った。



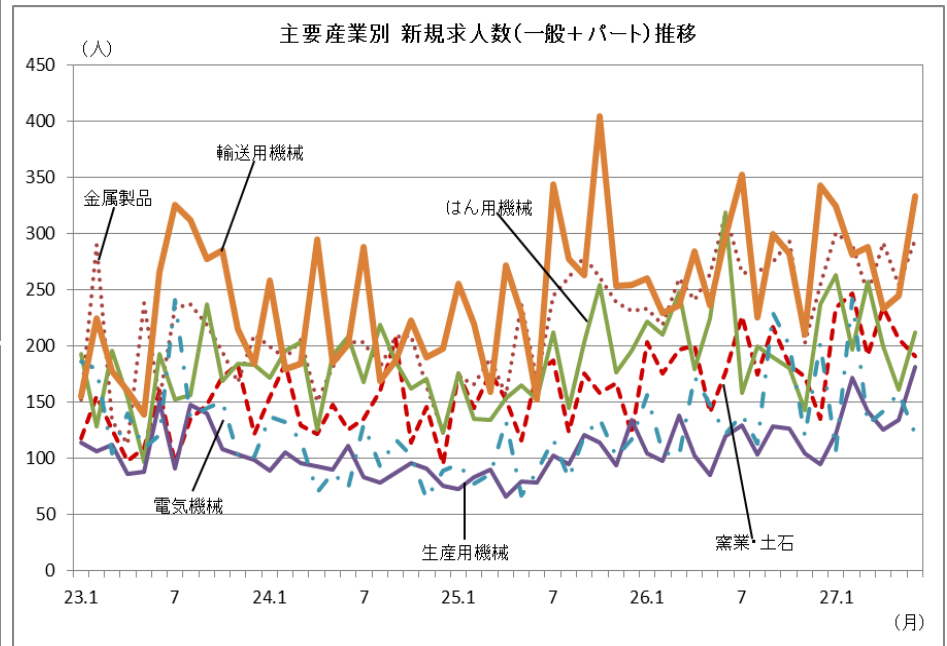
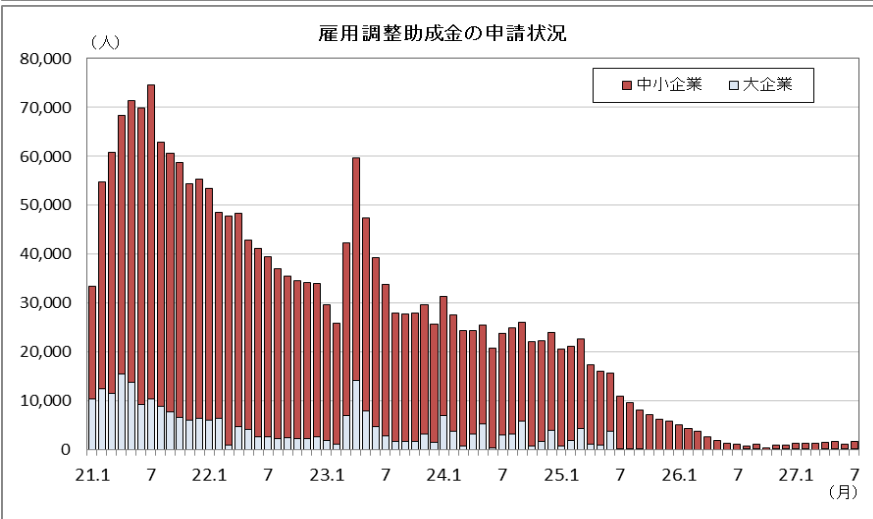
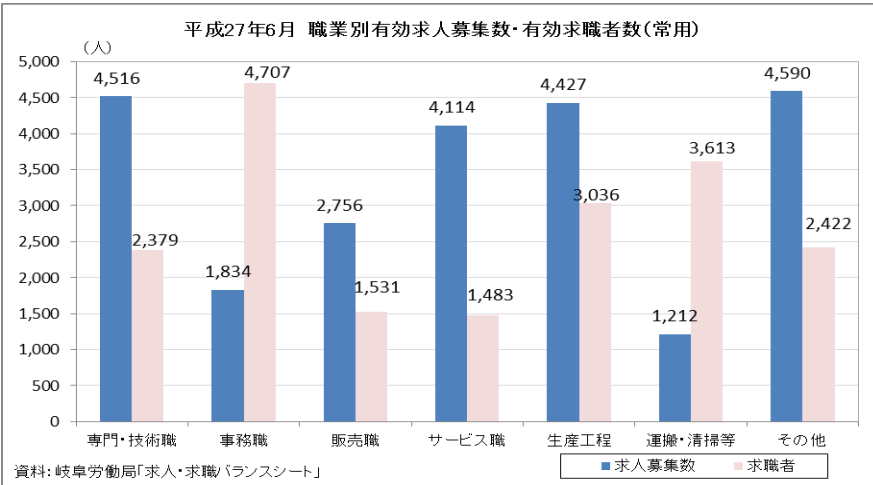
現場の動き

- ◆大手企業が求人を増やしており、中小企業は人材確保が厳しい状況にある。(輸送用機械)
- ◆求人数が増えていることもあり、秋以降の転職希望者も増えている。(人材派遣)
- ◆現場や施工などの管理者が不足している。応募も少ない。(住宅関連)
- ◆アルバイトは問い合わせがあるが、土日勤務ができないなど条件に合う人がなかなかいない。(大型商業施設)
- ◆全体的に人件費が上昇し、利益率がマイナス傾向にある。
- ◆専門職(技術職)や、建設業、飲食業は引き続き人手不足感が強い。(以上、金融)

雇用(職業別)

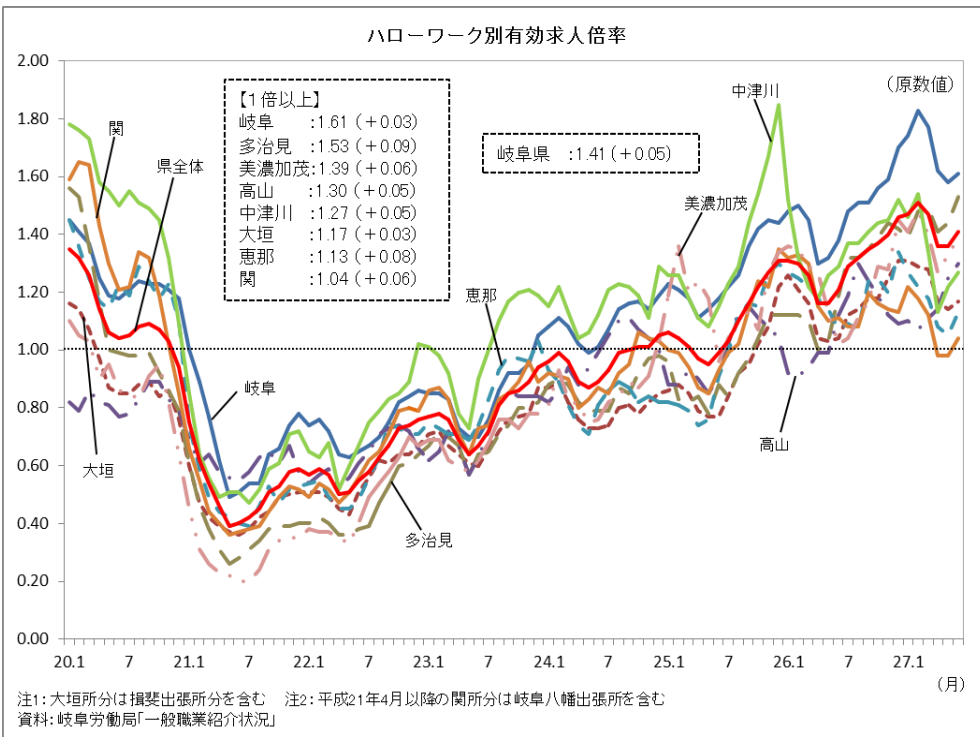
- 「事務職」や「運搬・清掃等職」では、求人募集数と求職者数のギャップが大きい状況が続いている。
- 雇用調整助成金は東日本大震災直後に急増したが、現在は減少傾向にある。

- 6月の主要産業における新規求人数は、生産用機械が前年同月比50.8%、輸送用機械が同11.7%、窯業・土石が同8.5%増加したが、はん用機械が同33.5%、金属製品が同7.2%減少した。



雇用(地域別)

現場の動き(先月比)



<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数、求職者数はともに減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数、求職者数はともに横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<窓口の様子>

- ◆岐阜、高山、恵那、美濃加茂は前月と同じくらい。大垣、多治見、関、美濃加茂、中津川は空いている。

<ハローワーク美濃加茂>

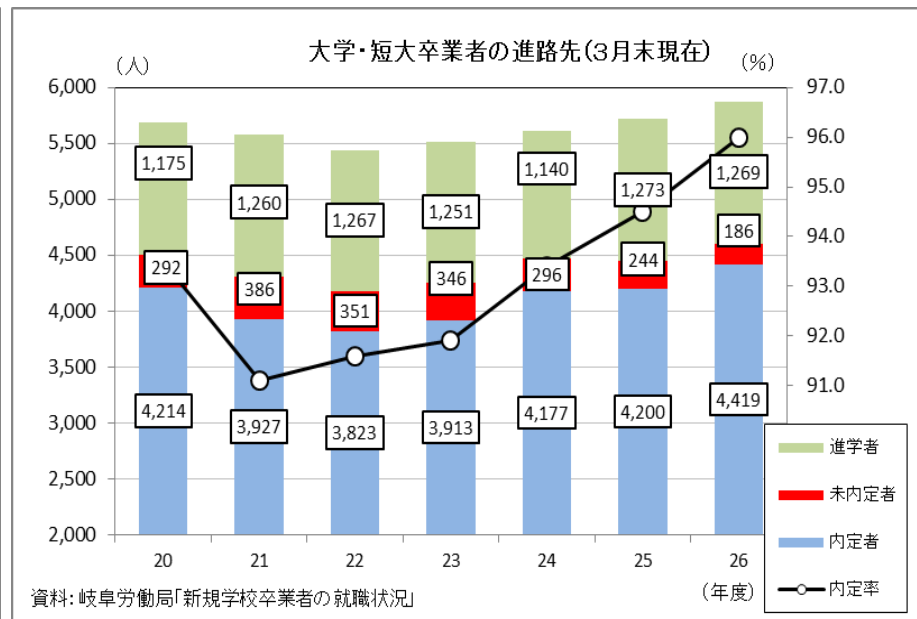
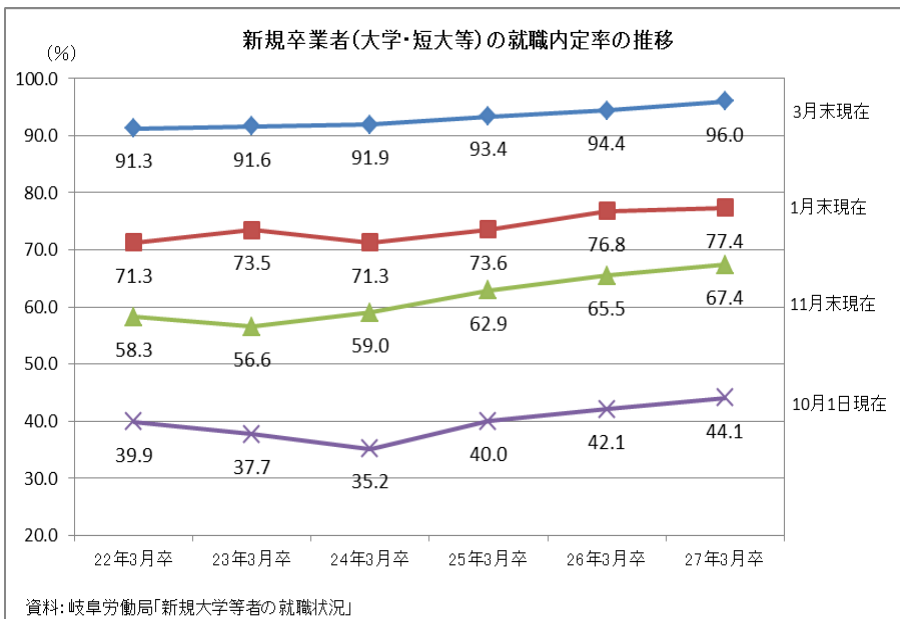
- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数、求職者数はともに増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

○3月末時点の大学・短大卒業者(平成27年3月卒業予定)の就職内定率は、前年比1.6ポイント増加し、最近6年間に於いて最も高い水準となった。



現場の動き(平成28年3月卒の就活状況等)

【岐阜県内の主な大学】

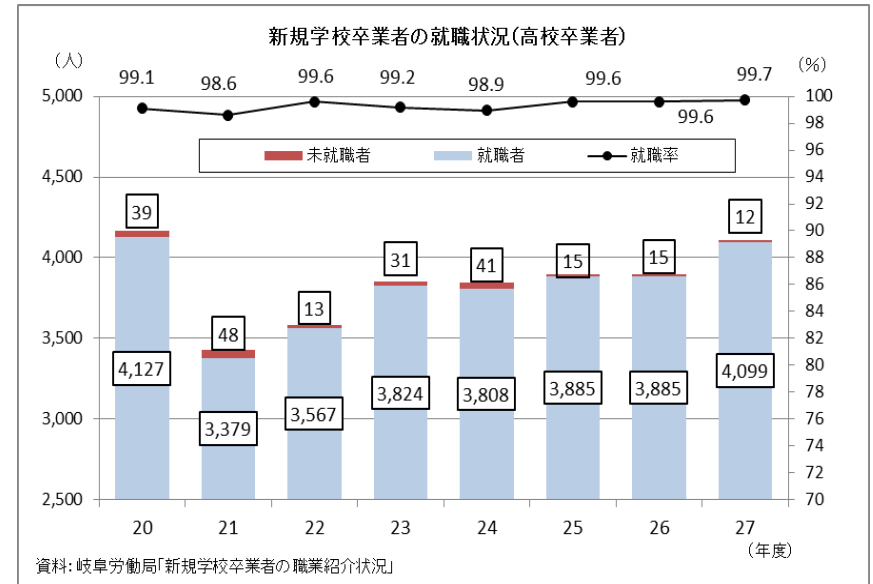
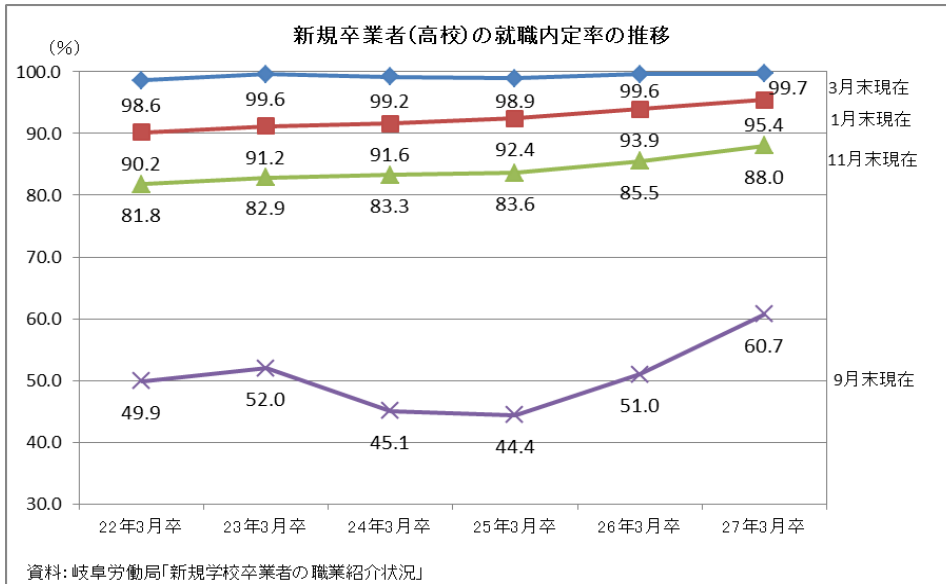
- ◆平成28年度採用の内定率の報告は9月以降を予定。
- ◆内定報告など進路決定した学生の報告件数は全体の2割弱程度。
- ◆選考開始となる8/1以降にどの程度の学生が結果報告にくるか大学側も掴めていない状況。

【愛知県内の主な大学】

- ◆8/1選考開始の協定はあるが、学生の3割から内定の報告が入っている状況。
- ◆複数内定を持っている学生から、内定を出した企業に対する承諾書提出に関する相談が増えている。
- ◆1件以上の内定を持って、大手の選考を待つ就職継続中の学生が多い。

雇 用(高校新卒者の就職)

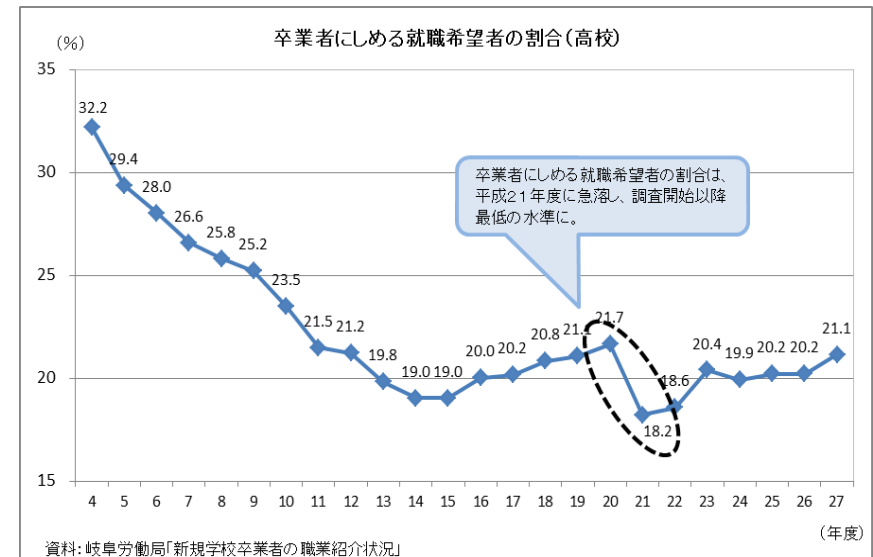
○3月末時点の高校卒業者(平成27年3月卒業予定)の就職内定率は、前年比0.1ポイント増加し、最近6年間に於いて最も高い水準となった。



現場の動き

- <ハローワーク岐阜>
- <ハローワーク大垣>
- <ハローワーク多治見>
- <ハローワーク高山>
- <ハローワーク恵那>
- <ハローワーク関>
- <ハローワーク美濃加茂>
- <ハローワーク中津川>

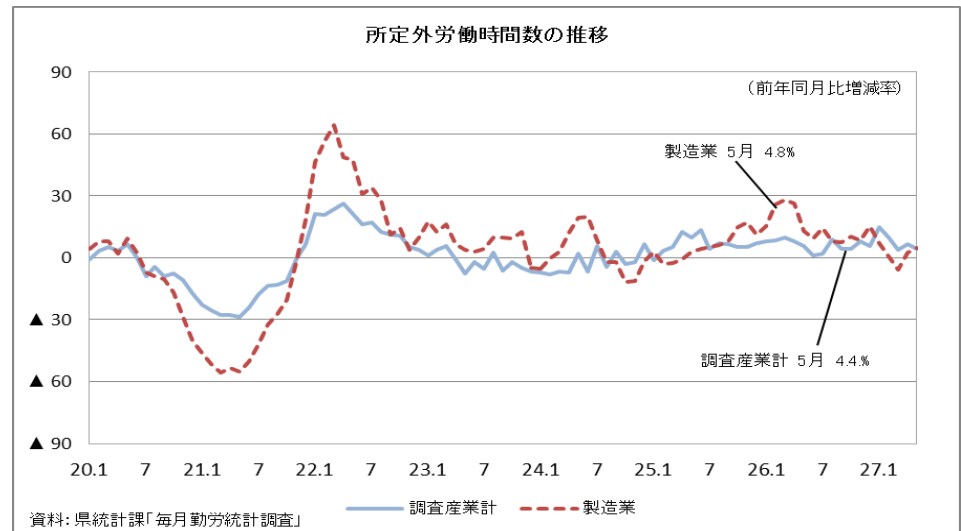
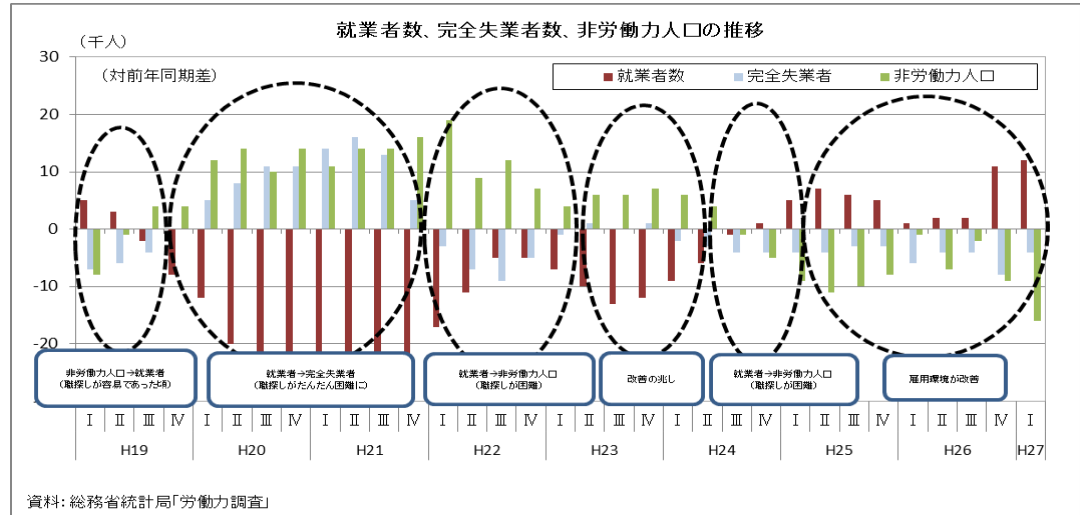
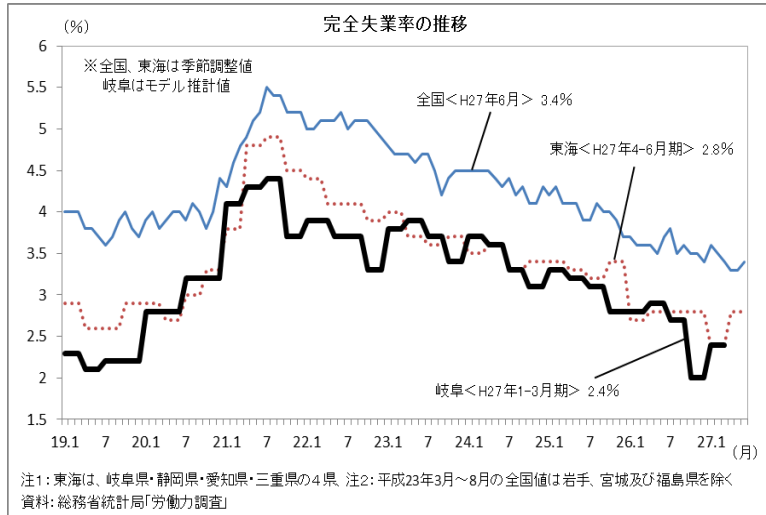
求人は増加。
求人は減少。
求人は減少。
求人は増加。
求人は増加。
求人は増加。
求人は横ばい。
求人は横ばい。



雇 用(完全失業率)

○平成27年1-3月期の完全失業率は2.4%と前期比0.4ポイント低下した。

○平成21年以降、職探しが困難な状況のなか、平成23年に改善の兆しを見せた。平成24年に再び厳しい状況となったが、平成25年以降に雇用環境は改善している。



＜経済・雇用の現状（総括）＞

- 製造業全体では、輸入原料の高騰によるコスト高が続いているが、輸送用機械関連を中心に受注や生産は好調を維持しており、大型の設備投資の動きも見られる。
- 直近の円安の動きについては、原材料価格の上昇が続き、製造コストを一層押し上げている。しかし、販売価格への転嫁が進んでいない企業が多く、利益を大きく圧迫している。
- 地場産業は、依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いているものの、生産に落ち着きを見せ始めた企業も一部で見られる。
- 個人消費は、雇用環境の改善による賃金上昇を背景に、消費の裾野は徐々に広がりつつある。売上が前年同月比を上回るまでに回復している小売店も見受けられ、駆け込み消費の反動減は和らいでいる。
- 観光では、インバウンドについて、特に中国、韓国からの観光客の増加により、前年比で好調を維持している。観光入込客については、「花フェスタぎふ2015」の成功も寄与し、トータルで見た観光入込客は前年比で増加傾向。
- 雇用面では、大学・短大・高校卒業者の就職内定率が最近6年間で最も高い水準となるなど、新卒採用を拡大する動きが見られるものの、製造業の一部や建設業、非製造業では、人手不足に陥っている企業が見受けられる。
- 企業の資金繰りは、改善傾向にある。新規融資実績も増加傾向にあり、借入難易度は緩やかながらも着実に改善している。